



港湾業務艇「まつかぜ」による回航訓練を実施しました。

平成29年7月27日、敦賀港湾事務所は、災害時の様々な活動を念頭に、福井県嶺北に向け、港湾業務艇「まつかぜ」による回航訓練を実施しました。

港湾業務艇「まつかぜ」が敦賀湾の外に出るのは、平成25年9月に発生した台風18号による被災地支援（住民移送）で出動した以来となります。

回航訓練の実施にあたっては、越前漁港（中継）と鷹巣港（折り返し点）を目的地とし、各港の関係者（管理事務所や漁協）への協力依頼のほか、入港・係船場所の現況把握など、事前調整を行い訓練に臨みました。

回航訓練では、事前に設定した各連絡ポイント等で、基地局（敦賀港・福井港）と無線・携帯電話による情報伝達を行いながら各港で係船作業を実施。当日の海象条件は、前日のうねりが若干残っていましたが、回航・船舶・乗組員ともに支障なく計画通り訓練を進めることができました。

今後も、県内各港での活動が円滑に行われるよう回航訓練を行い、港湾業務艇「まつかぜ」活用の充実を図って参ります。



無線による情報伝達の様子



越前漁港（厨【くりや】地区）の状況



鷹巣港での着岸状況



長距離の機関室高熱防止のため、送風機設置